

## 2021年度（令和3年度）事業報告

2021年（令和3年）7月中旬からの新型コロナウイルスの大規模な感染拡大は10月には一旦は落ち着いていたが、12月末になって市中感染と見られる感染が全国的に確認され、極めて速いスピードで感染者数が増加した。このため、全国各地でまん延防止等重点措置が適用され、2022年（令和4年）3月になってようやく全面解除となった。

引き続き新型コロナウイルス感染症は雇用情勢や社会経済活動に大きな影響を及ぼしているが、内閣府の月例経済報告によると景気や雇用情勢において持ち直しの動きが見られるとしている。

一方、令和2年国勢調査結果によると我が国の人口は1億2,614万6千人に減少、65歳以上の人口比率は28.6%に上昇している。

今後も構造的な生産年齢人口の減少は続くことが見込まれており、経済、社会の活力を維持・発展させていくため、生涯現役社会の実現が求められている。

こうした中、意欲あふれる高齢者がその持てる能力と豊かな経験を活かしながら活躍できる機会を提供するシルバー人材センターへの期待は一層大きなものとなっている。

このような状況の下で、当センターは2021年度（令和3年度）においても第三次中期計画に基づき、組織の根幹である会員の確保と就業機会の拡大、安全就業の徹底などに重点的に取り組んだ。

会員の確保については、定年延長や継続雇用制度の定着などによる厳しい環境の中、新規入会者の加入促進に努め、前年度を上回る入会者を確保できた。また、退会防止についても一層配意したことにより退会者は前年度より減少し、結果として前年度とほぼ同数の会員数を維持できたものの、増加には繋がらなかった。

受注実績は、請負・委任業務と労働者派遣事業において、それぞれ受注件数、契約金額とも減少し、全体として前年度を下回った。

安全就業面では、会員の高年齢化を踏まえ、平素の作業状況を点検する安全パトロール等を通して安全就業と事故防止対策の徹底に努めたが、事故件数は前年度より増加した。依然として慣れによる注意不足や安全意識の低下によるものと思われる事故が発生した。

今後、一層安全就業の徹底に向けた取り組みを強化し、当センターが高齢者の受け皿としての機能を十分果たしながら地域社会に貢献していけるよう、会員の確保や就業機会の拡大等に取り組むこととする。

2021年度（令和3年度）の事業実績と実施状況は、次のとおりである。

### 1 会員の確保

正会員の状況は、入会者は187人と前年度を32人上回り、退会者は188人と

前年度より 33 人減ったが、年度末の会員数は 1,191 人（男性 832 人、女性 359 人）で、前年度末の会員数より 1 人減となった。

#### （1）新規入会者の入会促進

- 毎月第 4 木曜日に本部と北部事務所での入会説明会のほかに、5 月・6 月・1 月・2 月には、本部と北部事務所が入会説明会を各 2 回実施するとともに、10 月・3 月には東部・西部・北部地域で入会説明会を実施した。
- 入会説明会用に製作した DVD を使用し、参加者が具体的に就業をイメージできるよう努めた。また、説明会に出席した理事による就業体験の紹介や就業相談のほか、会員互助会への加入奨励も行った。さらに、説明会後の入会手続き段階では、個別相談に応じるなど入会促進に努めた。
- 入会説明会参加後、入会申し込みの無かった参加者には入会勧誘と就業機会案内を送付するなどフォローにも努めた。
- 会員募集と入会説明会のチラシを新聞折り込により周知を図ったほか、公共施設への広告看板設置などにより、説明会への参加者や入会者が増える等一定の成果があった。
- 会報誌「いきいきふくやま」や事務局だより等を通して、会員に新規入会の勧誘を要請するとともに、ポイント表彰制度により勧誘・入会促進につながり 18 名を表彰することができた。
- 新たな試みとして、市民を対象とした剪定講習会を実施し、入会・就業に繋がった。

#### （2）女性会員の加入促進

- 高齢者活躍人材確保育成事業の生活援助従事者講習会や子育て支援セミナーにおいて入会案内と就業相談を実施したほか、女性会員の知人同伴でのステンドグラス講習会の開催などにより加入促進に努めた。

#### （3）会員の退会防止の推進

- 新規入会者と未就業会員の早期就業に向けたフォローアップ
  - ・新規入会者や未就業会員に対し、公園清掃や駐輪場管理等の体験就業機会を提供するとともに、事務局だよりやホームページで就業情報を提供した。
  - ・随時、電話等により就業情報を提供し、就業相談にも努めた。
  - ・自走式草刈機や刈払い機の取扱い講習などを実施しスキルアップに努めた。
- 会員間の連携強化
  - ・会報誌での互助会の同好会活動の紹介やショートメッセージで同好会主催の行事や他団体主催の講習会を案内し、会員の活動継続への動機づけとともに、連帯感の醸成に努めた。

## 2 就業機会の拡大

### (1) 新規事業の開拓

- 公共事業や関連事業の受注拡大に向け、福山市関係課と新たな維持管理業務について協議し、受注を決定した。
- ドローン体験講習会を開催し、ドローンを活用した新たな就業機会の創出に向けた継続的なスキルアップ環境と仲間づくりに取り組んだ。

### (2) 就業調整

- 就業相談
  - ・高齢者活躍人材確保育成事業の生活援助従事者講習会や子育て支援セミナーにおいて入会案内と就業相談を実施した。(再掲)

### (3) 労働者派遣事業の拡充

- 労働者派遣事業について、前年度からの継続した事業所からの受注に加え、「三密」回避等が可能な就業依頼を会員に情報提供し、下見を実施した結果、新たな事業所から調理、室内清掃や事務補助、塾講師などを受注した。

### (4) 発注者の満足度向上に向けた講習・研修の実施

- 会員の技能向上に向け講習会を実施した。  
剪定では、入門編の講習会を実施し、参加会員 10 人のうち 4 人が剪定班で就業した。

講習名	開催日	参加人数
自走式草刈機取扱い講習	5月10日・11日・9月14日・24日	24人
剪定講習「入門編」	5月24日～26日・28日	10人
草取り講習	6月10日・9月9日・10月14日・ 11月11日・12月9日	37人
草刈り講習	7月29日・9月1日・11月10日・ 12月1日・3月25日	26人
生活援助従事者講習	9月14日～10月28日の間で13日	8人
筆耕・宛名書き講習	10月6日・13日・20日	52人
刈払機取扱い安全衛生講習	10月18日・19日	19人
剪定講習「上級編」	3月7日・10日	21人

### (5) 独自事業の推進

- 再生自転車販売事業、チップ事業、さわやかまなび教室事業に取り組んだ。  
なお、さわやかまなび教室事業は感染拡大防止措置等により6月から休止。

### (6) 関係団体との連携

- 公共事業や関連事業の受注拡大に向け、福山市関係課と新たな維持管理業

務について協議し、受注を決定した。(再掲)

### 3 普及啓発活動の推進

#### (1) 普及啓発活動の強化

○福山市の広報紙及び関係機関の機関誌を活用した PR 活動

・福山市の広報紙「ふくやま」への定期的な PR 掲載や大型記事の掲載のほか、福山市社会福祉協議会の機関誌への広告など当センターの PR に取り組んだ。

○会員募集と入会説明会のチラシを新聞折り込により周知を図った。(再掲)

○ホームページにより、シルバー人材センター事業の紹介や入会案内などの情報発信に取り組んだほか、公共施設へ広告看板を設置した。

○会報誌「いきいきふくやま」や「事務局だより」の発行

・会報誌や事務局だよりを発行し、会員にセンター事業の周知を図るとともに、会員による新規入会者の勧誘を要請した。

・労働者派遣事業の派遣先事業所に「いきいきふくやま」を送付し PR に努めた。

#### (2) 社会参加活動の推進

・10月の「シルバーの日」に市役所本庁舎周辺で清掃ボランティア活動を実施した。

### 4 安全就業の推進

2021年度(令和3年度)の事故は、傷害事故が13件、賠償事故が17件で、計30件発生し、前年度と比べると全体で11件、約58%の増加となった。

傷害事故は6件の増加、賠償事故は5件の増加となっている。傷害事故としては、転落・転倒による事故や裂傷事故等が発生し、賠償事故については、刈払機による作業中の小石飛散事故や電話線等切断のほか、作業中の接触等による物損となっている。物損事故に関しては、特に作業前の飛散防止対策の不備や発注者との打ち合わせが不十分なため発生したものであり、徹底することにより防げたと思われる事故が大半であった。

なお、賠償事故の増加に伴い、保険契約の条件変更が必要となり、免責額を見直し、増額とした。

○傷害事故	転倒による事故	5件	転落による事故	5件
	就業の帰途の交通事故等	2件	ハチ刺され	1件
○賠償事故	刈払機による飛散事故	5件	誤操作等による切断事故	4件
	接触による物損事故	4件	その他(伐採等)	4件

(1) 安全委員会・安全パトロールの実施

- 安全委員会を6回開催し、安全就業推進計画や安全対策重点項目を定め、事故の未然防止の観点から、安全パトロール実施要領に基づき平素の作業状況の安全パトロールを5回実施した。
- 事故の原因分析と対策を検討し、「安全だより」やリーダー会議などでその情報の共有を図り、事故防止対策の徹底に努めた。
- 夏期の熱中症対策（実施期間：7月25日～8月31日）を実施した。

(2) 作業前ミーティングの実施と安全就業チェックシートの活用の徹底

- 「安全だより」や各職域班を通して、作業前ミーティングや危険箇所の事前確認の徹底と防護対策の確実な実施を周知した。

(3) 安全講習・研修の推進

- 会員の技能向上、知識の取得や安全就業に向け、次の講習会等を実施した。

【講習会】（再掲）

講習名	開催日	参加人数
自走式草刈機取扱い講習	5月10日・11日、9月14日・24日	24人
剪定講習「入門編」	5月24日～26日・28日	10人
草取り講習	6月10日、9月9日、10月14日、 11月11日、12月9日	37人
草刈り講習	7月29日、9月1日、11月10日、 12月1日、3月25日	26人
刈払機取扱い安全衛生講習	10月18日・19日	19人
剪定講習「上級編」	3月7日・10日	21人

【各職域班リーダー会議等】

会議名	開催日	参加人数
剪定班 役員会議	4月27日、6月18日、11月5日、 2月3日	30人
	リーダー会議	
草刈班リーダー会議	7月28日	13人

(4) 会員自らによる健康管理の推進

- 事務局だよりや安全だよりで、福山市の健康診査受診の呼びかけや日常の体調管理の留意点、新型コロナウイルス感染予防などの周知を図った。

5 適正就業の推進

(1) 適正就業の推進

- 発注者ニーズに応じて労働者派遣事業を活用するとともに、受注内容や就業実態に留意しながら適正就業の推進に取り組んだ。

○新規の民間発注者には安全衛生や労働関係法規の遵守など適正就業の徹底を周知した。

## (2) 就業機会の均等化の推進

○公共事業部門のワークシェアリング（公共業務の公募）の実施

・より多くの会員が公平に就業できるよう公共事業部門でワークシェアリングを実施し、39人が新規に就業することとなった。

○新規入会者と未就業会員への就業機会の提供

・新規入会者や未就業会員に対し、公園清掃や駐輪場管理等の体験就業機会を提供するとともに、事務局だよりやホームページで就業情報を提供した。（再掲）

## (3) 発注者の満足度向上の推進

○会員の接客・技能向上などに向け、次の講習会を実施した。

### 【講習会】（再掲）

講習名	開催日	参加人数
自走式草刈機取扱い講習	5月10日・11日、9月14日・24日	24人
剪定講習「入門編」	5月24日～26日・28日	10人
草取り講習	6月10日、9月9日、10月14日、 11月11日、12月9日	37人
草刈り講習	7月29日、9月1日、11月10日、 12月1日、3月25日	26人
生活援助従事者講習	9月14日～10月28日の間で13日	8人
筆耕・宛名書き講習	10月6日・13日・20日	52人
剪定講習「上級編」	3月7日・10日	21人

○職域班リーダー会議や事務局だよりなどを通して、発注者への迅速な連絡と作業前や完了後の確認の確実な実施、就業報告書の迅速な提出などを依頼し、発注者へのサービス向上に取り組んだ。

## 6 組織体制の充実と財政基盤の強化

### (1) 組織の機能強化

○会員確保に向けた取組みや安全就業の推進などのため、理事会や理事会専門委員会、各種委員会を開催した。

○職域班のリーダー会議などを通し、会員による自主的な運営ができる組織づくりに努めた。

【総会・理事会等の開催状況】

① 定時総会[1回]

開催月日	内 容
6月17日	<p>議案審議</p> <p>議案第1号 2020年度（令和2年度）事業報告について</p> <p>議案第2号 2020年度（令和2年度）収支決算について</p> <p>議案第3号 定款の一部変更について</p> <p>議案第4号 理事及び監事の選任について</p> <p>報告事項</p> <p>報告第1号 2020年度（令和2年度）収支補正予算について</p> <p>報告第2号 2021年度（令和3年度）事業計画について</p> <p>報告第3号 2021年度（令和3年度）収支予算について</p>

② 理事会 [5回]

開催月日	内 容
5月13日	<p>議案審議</p> <p>議案第1号 2020年度（令和2年度）事業報告について</p> <p>議案第2号 2020年度（令和2年度）収支決算について</p> <p>議案第3号 理事及び監事候補者の選考について</p> <p>議案第4号 表彰について</p> <p>議案第5号 2021年度（令和3年度）定時総会について</p> <p>議案第6号 未収金の回収不能額の処理について</p> <p>議案第7号 理事長に対する権限委任について</p> <p>報告事項</p> <p>報告第1号 正会員入会者の報告について</p> <p>報告第2号 未収金の回収状況について</p> <p>報告第3号 ポイント表彰制度について</p>
7月13日	<p>報告事項</p> <p>報告第1号 正会員入会者の報告について</p>
10月19日	<p>議案審議</p> <p>議案第1号 2021年度（令和3年度）収支補正予算について</p> <p>報告事項</p> <p>報告第1号 正会員入会者の報告について</p> <p>報告第2号 職務執行状況の報告について</p> <p>報告第3号 事業報告について</p> <p>報告第4号 正会員会費の納入状況について</p> <p>報告第5号 未収金の回収状況について</p>

2月17日	<p>議案審議</p> <p>議案第1号 配分金見積り基準等の改定について</p> <p>報告事項</p> <p>報告第1号 正会員入会者の報告について</p> <p>報告第2号 職務執行状況の報告について</p> <p>報告第3号 事業報告について</p> <p>報告第4号 ワークシェアリング（公共業務の公募）の取組みについて</p> <p>報告第5号 正会員会費の納入状況について</p> <p>報告第6号 未収金の回収状況について</p>
3月15日	<p>議案審議</p> <p>議案第1号 2021年度（令和3年度）収支補正予算について</p> <p>議案第2号 就業規約の一部改定について</p> <p>議案第3号 2022年度（令和4年度）事業計画（案）について</p> <p>議案第4号 2022年度（令和4年度）収支予算（案）について</p> <p>議案第5号 2022年度（令和4年度）役員賠償責任保険契約の承認について</p> <p>議案第6号 職員就業規則の一部改正等について</p> <p>議案第7号 理事長に対する権限委任について</p> <p>報告事項</p> <p>報告第1号 2021年度（令和3年度）収支決算見込について</p>

③ 理事会専門委員会 [3回]（総務委員会・普及啓発委員会・事業委員会）

開催月日	内 容
7月13日	<p>総務委員会、普及啓発委員会及び事業委員会の開催</p> <p>・委員長の互選について</p>
1月28日	<p>総務委員会</p> <p>・配分金見積り基準等の改定について</p>
3月3日	<p>事業委員会</p> <p>・就業規約の改定について</p>

④会計監査[1回]

開催月日	内 容
5月11日	<p>監査事項</p> <p>(1) 2020年度（令和2年度）事業報告について</p> <p>(2) 2020年度（令和2年度）収支決算報告について</p> <p>(3) 会計帳簿等について</p>

## (2) 業務運営の効率化

- 全国シルバー人材センター事業協会主催の派遣元責任者講習会に参加するとともに、会計・経理担当者会議や県連合会の適正就業担当者会議等をオンライン受講するなどにより事務局職員の資質向上と事務処理能力の向上に努めた。

## (3) 財政基盤の強化

- 会員の確保や就業機会の拡大、労働者派遣事業等の開拓、公共業務の維持継続を図りながらセンターの事業基盤強化に努めた。
- 請求書の早期送付など会員と連携して迅速な事務処理に取り組み、早期回収と未収金の防止に努めるとともに、会費未納者へは就業機会の提供を図り、就業を通じた会費納入の促進に努めた。
- 計画的、効率的な予算執行と経費の節減に努めた。
- 受注、就業の状況は次のとおりである。

### 【請負・委任業務の受注状況と就業状況】

- ・受注件数 8,247 件 (対前年度比 414 件減)
- ・契約金額 453,561,187 円 (対前年度比 10,922,541 円減)
- ・公共事業と民間事業の比率  
公共 27.7% 民間 72.3% (うち個人 64.8% 企業等 35.2%)
- ・契約金額に占める職域群ごとの割合
  - 運搬・清掃・包装等の職業 (除草、草刈、屋内清掃など) 52.29%
  - 農林業の職業 (剪定、伐採、農作業など) 28.74%
  - サービスの職業 (家事援助サービス、駐車場管理など) 14.41%
  - 生産工程の職業 (襖障子張替、チラシ封入作業など) 2.55%
  - 事務的職業 (一般事務、宛名書き、筆耕など) 1.66%
  - 輸送・機械運転の職業 (自動車運転など) 0.21%
  - 建設・採掘の職業 (大工・左官など) 0.14%
- ・受託件数 12,431 件 (対前年度比 346 件減)
- ・就業延人員 109,085 人 (対前年度比 62 人減)
- ・就業率 79.8% (対前年度比 0.4 ポイント増)

### 【労働者派遣事業の受注状況と就業状況】

- ・受注件数 74 件 (対前年度比 8 件増)
- ・契約金額 49,993,539 円 (対前年度比 4,495,698 円減)
- ・就業延人員 9,897 人 (対前年度比 1,585 人減)
- ・就業率 93.4% (対前年度比 6.6 ポイント減)